

■事例写真

(1) 公共や民間のみどりとのネットワークの形成

ア 街路や公園、水辺等の公共施設と連携し、空間や緑に厚みを持たせる

都市公園や道路と連携することにより、市街地におけるみどりのネットワークを形成している。



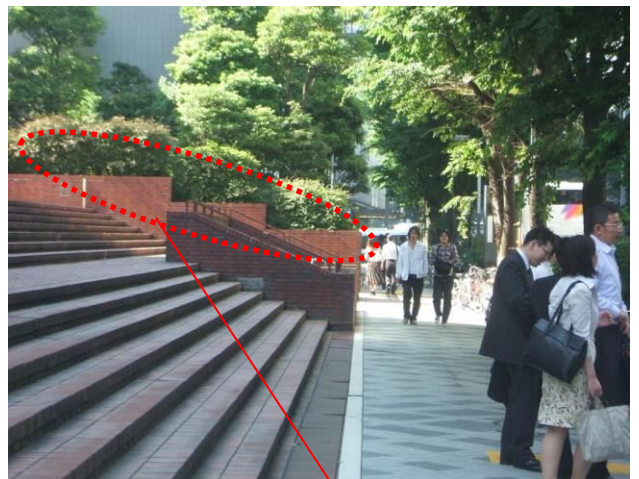
イ 隣接する公開空地等の民間施設と連携し、空間や緑を連続させる

民間事業者同士が隣接する開発敷地で公開空地を向け合うことで、広がりのある空間が実現する。

隣接する開発敷地で公開空地の間に壁が設けられているため、歩道状空地が連続していない。



←→
一体的な公開空地



— 公開空地を区切る壁

凡例 青字：望ましい事例 赤字：改善が望まれる事例

コラム：「公共と民間におけるみどりのネットワークの形成」

これまでの東京都でのみどりのネットワークづくりは、道路、河川、公園等の各種整備事業において取り組んできました。このような中、より多くのみどりの連続性と広がり为确保するため、平成19年6月に「環境軸ガイドライン」において環境軸を設定しました。この環境軸は、民間も一緒になりながら道路、河川、公園等の沿道のまちづくりで創出されるみどりを組み合わせ、公共のみでは成し得ない厚みと広がりを持った緑化空間の創造を目指しています。そのため、今後もより一層、環境軸上の公開空地を創り、つなげることでみどりのネットワーク形成を促進する必要があります。

また、環境軸上にはなくても規模の大きな公開空地等は、地域の貴重な緑化空間の拠点となり、行く行くは、幹から出た枝のようにみどりのネットワークの形成につながるよう期待が高まっています。

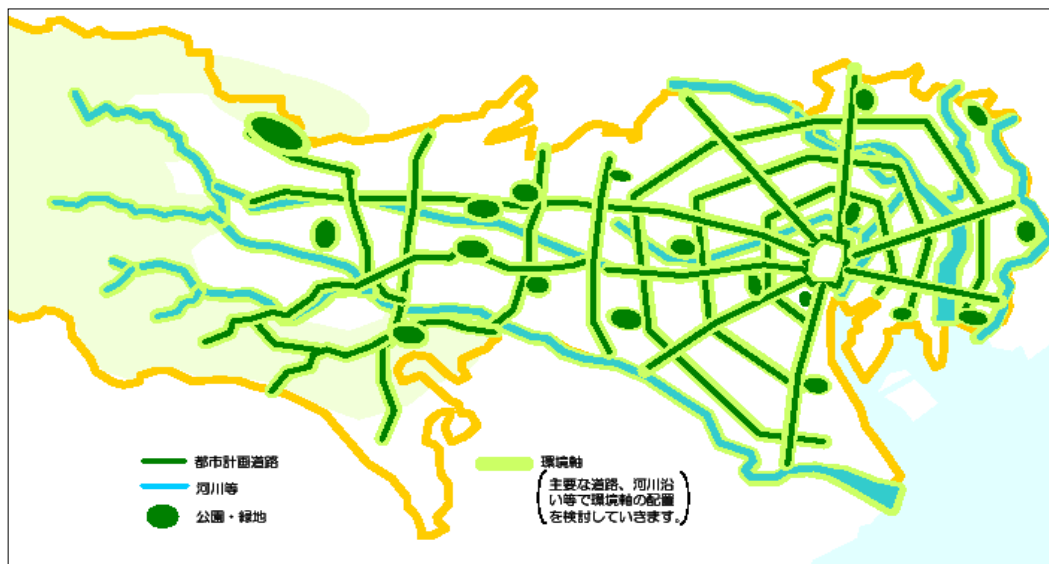


図 東京都の環境軸